

1月指導計画(3歳以上児クラス) 幕張第二保育所														所長印	主任印	担任印
3歳児				4歳児				5歳児								
子どもの姿	・着替え、片付け、手洗い、うがい等身の回りのことを保育者に声をかけられながらも自分から進んでやろうとしている。 ・年上児の姿を見て、表現遊びやルールのある遊びを楽しんでいる。				・「この遊びをやりたい」という思いを持ち、友達との遊びを楽しんでいる。他の友達を誘う姿や、友達の遊びに興味を持ち、自分から「入れて」と仲間に入る姿も増え、少しずつ集団が大きくなってきている。一方で、友達と同じ場所で遊んではいるが、その場を共有しているだけで遊びが発展していく様子が見られない事もある。				・問題や困ったことが起きた時、年長会議で話し合おう提案する子が多くなる。ルールを変更したり、新ルールを設けたりして遊びや生活がうまく進むようにしている。 ・自分達のやりたいことを言葉に表して、それを実現させようとする姿が見られる。							
	・困っていることなどを言葉にして自分から伝えられるようにする。 ・友達や保育者と簡単なルールのある遊びや表現することを楽しむ。				・手洗いやうがいを丁寧にやる事が身に付き、健康に過ごす。 ・思いを伝え合いながら、友達とのつながりを深め、一緒に遊ぶ事を楽しむ				・病気の予防などに必要な習慣や態度がわかり進んで行く。 ・友達と協力したり工夫したりして、自分達で遊びを発展させて進める楽しさを味わう。							
ねらい	活動内容				活動内容				活動内容							
	環境設定				環境設定				環境設定							
養護	予想される子どもの姿				予想される子どもの姿				予想される子どもの姿							
	保育者の援助・配慮及び環境の再構成				保育者の援助・配慮及び環境の再構成				保育者の援助・配慮及び環境の再構成							
情緒の安定	・自分の思いを保育者や友達に伝えられるよう、話しやすい環境を用意する。				・自分から言いに来た時は耳を傾け、きちんと聞き取りに応えていく。				自信を持って活動や遊びにその子なりに参加できる。㊦㊧							
	・できないことや困っていることを自分から言いに来れない子もいる。㊦				・自分から言いに来た時は耳を傾け、きちんと聞き取りに応えていく。				困っている時には何につまずいているか状況を整理し、自分達で最後までやり遂げたという思いが持てるようサポートをしていく。							
生命の保持	・ガラガラとブクブクの違いが分かるように絵や言葉で知らせる。				・保育者が見本となり、うがいの違いに気づけるようにしていく。区別をするのが難しい子もいるので個別で知らせていく。				・冬を健康に過ごすために必要な習慣や態度(手洗い、うがい、防寒具の始末、衣服の調節等)が身につく自分から行う。							
	・手洗いの歌を用意する。 ・ペーパータオル、コップ置き場、鏡を設定する。				・水が冷たくて手を洗うのが雑になってしまいう子もいるので、保育者が見本となり丁寧に洗えるようにする。 ・ペーパータオルの使い方等手洗いの後も丁寧に見ていく。 ・チャックやボタンを留めないまま掛ける子もいるので、留められているかを確認する。				・手洗い・うがいの大切さを看護師から聞く機会を持って、温度計を置き気温の変化がわかるようにする。 ・ハンガーラックを用意する。							
教育	・入室後の流れを知らせ、動線がスムーズになるようにする。				・自分のハンガーが分かりコートを掛ける。㊦				・正月の様々な伝承遊びが楽しめるように必要物を用意し、スペースや時間を十分に確保する。							
	・防寒着の着脱				・正しい持ち方を知らせ、箸に興味を持てるようにする。 ・正しく使える子に対しては保護者にも伝え、箸での食事に繋げていく。				・グループに必要な絵本や小道具、音楽、楽器を用意し、いつでもグループで表現遊びが楽しめるようにする。 ・必要物や道具がすぐに作れるよう、材料を用意する。 ・お互いのグループで発表しあえる場所や時間を用意する。							
健康	・箸遊び				・正しい持ち方を知らせ、箸に興味を持てるようにする。 ・正しく使える子に対しては保護者にも伝え、箸での食事に繋げていく。				・遊びに必要な物を友達と話し合い、いろいろな材料や用具を使って工夫して制作する。 ・グループの友達と自分で選んだ表現遊びを作り上げていくことを楽しむ。㊦㊧㊨ ・小グループで活動する際、自分達で時間を決めて活動したり、友達に声をかけたりする。㊦㊧ ・友達に見てもらおうと、見てくれる人がいることを意識する。㊦							
	・正月遊び 風あげ コマ回し				・氷がはっていたり、霜がおりていたり見たり触ったりする。 ・氷を作ってみる。 ・廃材や様々な素材など、必要な物を用意する。なくなったらすぐに補充出来るようにしておく。				・グループで必要な絵本や小道具、音楽、楽器を用意し、いつでもグループで表現遊びが楽しめるようにする。 ・必要物や道具がすぐに作れるよう、材料を用意する。 ・お互いのグループで発表しあえる場所や時間を用意する。							
人間関係	・鬼ごっこ				・友達や保育者の様子を見て興味を持ち参加してみようとする。㊦ ・ルールが分からなくて戸惑う子もいるが保育者と一緒にやってみようとする。㊦㊧				・遊びに必要な物を友達と話し合い、いろいろな材料や用具を使って工夫して制作する。 ・グループの友達と自分で選んだ表現遊びを作り上げていくことを楽しむ。㊦㊧㊨ ・小グループで活動する際、自分達で時間を決めて活動したり、友達に声をかけたりする。㊦㊧ ・友達に見てもらおうと、見てくれる人がいることを意識する。㊦							
	・表現遊び				・子どもが興味を持てるようなオパレット等の表現遊びやごっこ遊びを用意する。 ・イメージしやすいようなものや音楽などを用意し楽しめるようにする。				・自然の変化や、遊びに適した天候に目を向けられるよう、声をかけたり一緒に調べたりしていく。 ・友達が作ったものに対して認めあえる場を設け、工夫した点を伝えていく。 ・すぐに制作やお手紙書きができるよう、準備をすると共に、遊具や用具など様々な物の横に名称や注意点等をひらがな表記し、文字や数を意識できるようにする ・書きたい気持ちを文字にできない子には気持ちを聞いて書き方を知らせる。 ・書き順や鉛筆の持ち方を見ていく。 ・掲示した写真等を見て食事をしたことでマナーが良くなった場合、その点を伝える。							
環境	・一人一人が十分に楽しめるように、スペースを用意する。				・年上児や保育者の真似をしてやってみようとする。㊦㊧				・お互いのグループで発表しあえる場所や時間を用意する。							
	・鬼ごっこ				・友達や保育者の様子を見て興味を持ち参加してみようとする。㊦ ・ルールが分からなくて戸惑う子もいるが保育者と一緒にやってみようとする。㊦㊧				・グループに必要な絵本や小道具、音楽、楽器を用意し、いつでもグループで表現遊びが楽しめるようにする。 ・必要物や道具がすぐに作れるよう、材料を用意する。 ・お互いのグループで発表しあえる場所や時間を用意する。							
言葉	・形鬼や色鬼など簡単なルールのある遊びを設定する。				・友達や保育者の様子を見て興味を持ち参加してみようとする。㊦ ・ルールが分からなくて戸惑う子もいるが保育者と一緒にやってみようとする。㊦㊧				・遊びに必要な物を友達と話し合い、いろいろな材料や用具を使って工夫して制作する。 ・グループの友達と自分で選んだ表現遊びを作り上げていくことを楽しむ。㊦㊧㊨ ・小グループで活動する際、自分達で時間を決めて活動したり、友達に声をかけたりする。㊦㊧ ・友達に見てもらおうと、見てくれる人がいることを意識する。㊦							
	・子どもが興味を持てるようなオパレット等の表現遊びやごっこ遊びを用意する。 ・イメージしやすいようなものや音楽などを用意し楽しめるようにする。				・子どもが興味を持てるようなオパレット等の表現遊びやごっこ遊びを用意する。 ・イメージしやすいようなものや音楽などを用意し楽しめるようにする。				・遊びに必要な物を友達と話し合い、いろいろな材料や用具を使って工夫して制作する。 ・グループの友達と自分で選んだ表現遊びを作り上げていくことを楽しむ。㊦㊧㊨ ・小グループで活動する際、自分達で時間を決めて活動したり、友達に声をかけたりする。㊦㊧ ・友達に見てもらおうと、見てくれる人がいることを意識する。㊦							
表現	・形鬼や色鬼など簡単なルールのある遊びを設定する。				・友達や保育者の様子を見て興味を持ち参加してみようとする。㊦ ・ルールが分からなくて戸惑う子もいるが保育者と一緒にやってみようとする。㊦㊧				・遊びに必要な物を友達と話し合い、いろいろな材料や用具を使って工夫して制作する。 ・グループの友達と自分で選んだ表現遊びを作り上げていくことを楽しむ。㊦㊧㊨ ・小グループで活動する際、自分達で時間を決めて活動したり、友達に声をかけたりする。㊦㊧ ・友達に見てもらおうと、見てくれる人がいることを意識する。㊦							
	・子どもが興味を持てるようなオパレット等の表現遊びやごっこ遊びを用意する。 ・イメージしやすいようなものや音楽などを用意し楽しめるようにする。				・子どもが興味を持てるようなオパレット等の表現遊びやごっこ遊びを用意する。 ・イメージしやすいようなものや音楽などを用意し楽しめるようにする。				・遊びに必要な物を友達と話し合い、いろいろな材料や用具を使って工夫して制作する。 ・グループの友達と自分で選んだ表現遊びを作り上げていくことを楽しむ。㊦㊧㊨ ・小グループで活動する際、自分達で時間を決めて活動したり、友達に声をかけたりする。㊦㊧ ・友達に見てもらおうと、見てくれる人がいることを意識する。㊦							
行事予定	10日(水)年長児クッキング 11日(木)おはなし会 23日(火)年長児懇談会				家庭との連携				小学校・地域との連携							
	・正月の休み明けは生活リズムが乱れがちなので、家庭と連携を取りながら一人一人のリズムを把握し丁寧に見ていく。 ・感染症が流行する時期なので、感染症の情報を知らせ、共有できるようにし予防に努めていく。				・1月23日の年長懇談会へのお誘いをする。面談で就学に対して心配なこととして上がったことを話し合えるようにしていく。小学校との交流を通して(校庭、校舎内見学、交流会等)の子どもの反応や小学校の教諭からの話し(自分のことは自分でできるように)を伝える。 ・1月からお昼寝なしの生活になるが、体調によって午睡をしていくことを伝える。家庭での生活リズム、週末の過ごし方も見直してもらうようお願いする。				・小学校校庭や小学校周辺を散歩し、通学路にはどのような場所が(横断歩道、こども110番の家等)あるかを知り安心できるようにする。㊦㊧ ・1年生に交流会のお礼の手紙を書いて、保育所だよりと共に持っていく。㊦㊧㊨							
月の反省	3歳児				4歳児				5歳児							
	困っている姿があった時にすぐに保育者が声をかけてしまうのではなく、子どもの姿を見守りながら、子どもからの言葉を待つようにしていった。そうしていったことで、できないことや食べられないもの等を自分から保育者へ伝えられるようになってきている。また、表現遊びでは、自分のやりたいことを選んで決めたことで年上児の姿を見ながら楽しんで参加しているため、一人一人が楽しめるよう関わっている。緊張しながらも見てもらうことを喜びながら楽しむ姿があるので自信へとつなげている。食事では、箸へ移行する子が増えてきている。配膳前に椅子の座り方や姿勢、箸を置く向きや弁当箱と食器の位置等も子どもに知らせていったことで意識する子の姿もあるので継続していく。				表現遊びでは、自分の興味のあるものを自分で選び、参加している事から、張り切ったり一生懸命に取り組んでいる姿が見られる。頑張る姿を認める事で更にやる気になったり、自信がつく様子もあるので、一人ひとりの頑張りを認めていく。一方で、なかなかやる気が出ない姿もあった。楽しさを伝えたり、仲の良い友達と一緒に参加出来るように誘い掛けている。少しでも参加出来た時にはその事を認め、やりたいという気持ちにつながるよう関わっている。 手洗いやうがいを自分から丁寧にやる姿が増えてきた。一方で、歯磨きについては忘れがちになったり、さっと終わらせてしまう姿もある。歯磨きの意味について確認したり、側についてやり方を知らせる事で、丁寧に磨こうとする様子があるので、引き続き一緒に磨きながら歯磨きの習慣がしっかりと身に付くようにしていく。				・表現遊びを通して異年齢のグループのリーダーとして意見を伝えたり、グループのメンバーに声をかける姿が見られた。グループのスケジュールを友達同士で決め、予定を書き込むなど伝え方を工夫する姿が出てきた。年長の劇ごっこでは役以外に道具を出す係が必要と気づく子もおり、全体を見る力、みんなで一緒に作ってほしいという気持ちが出てきている。 ・意欲があり、行動力もあるが気持ちが先走り話を最後まで聞けない姿がある。話を聞くことによって正確にできること、楽しくできること、自分の意見も言えることを伝えたり経験できるようにしていく。 ・友達とルールのある遊びを楽しむが、複数ルールのある遊びになると途中でけんかになることがある。遊び始める前にルールのすりあわせをしていくことが必要になってきている。							